

版 五
用 適 科 教

237

歌 唱 奉 幼

卷 中 編 初



K120.73
33
2

K120.73

33

2

訂正四版

教科
適用
少年
唱歌

初編
中卷

納所辨次郎
田村虎藏
共編

東京 銀座 十字屋發行



Blank page with faint grid lines.

緒言

本書は現今小學唱歌教授上に於ける一般の弊習を救済し、教育的教授上最も適切なる教材を供給せんが爲に、尋常第一學年より高等第四學年に至る迄、各學年各學期に配當し、順次編を追ひ卷を重ねて編纂し、以て教科書用に充てんとす。

一、題目、尋常科₁は、専ら修身、讀書科₁關係を有する事項、及び四季の風物に因みて之を取り、高等科には、更に地理、歴史、理科等の教科に關係を有する事項を加へ、以て各教科の統一を完からしめんことに努めたり。

一、歌詞、多年小學教育の經驗を有せる識者の手に成りて、兒童の心情に訴へ、程度を察し、平易にして理解し易く、而も

詩的興味を失はざるものより、漸く進みては、所謂古今の名家の作に及ぼし、以て國民感情の養成に資せんとせり。

一、曲節、多年編者研究の結果に出で、能く其音程音域の如何を審査し、兒童發達の程度を探竅し、初は快活にして流暢なるものより、漸く優雅にして諄美なるものに進め、以て審美的感情の育成に資せんとせり。

以上掲ぐる外、詳細なる編者の用意及び音楽上併に教授上の注意に至りては、毎卷これを記述せん。

明治三十三年八月廿日

編者 識す

教科 幼年唱歌初編中卷

凡 例

- 一、本編は、尋常小學第一學年第二學期間に、教授すべき材料を配當せるものなり。而して歌曲の數八個は、毎週二時間宛教授するものとしての最多限なり。故に教授時間の事情により、これが取捨選擇は教師の任意たるべし。
- 一、本編の歌詞は、一般兒童にもよく了解せしめんが爲め、凡てこれを平假名とし、出來得べき丈け大字を用ひたり。曲節は、凡て兒童の唱歌し得べき音域内に記譜したるが故に、記譜の各調子にて直ちに教授するを得べし。
- 一、本編歌曲の強弱は、片假名の略號にてこれを表はせり。即ちヨは弱く、ツは強く、ナは中等に、シ、ハは次第に弱く、ソ、フは次第に強く、其數部分を謠ふべきことなり。強弱は、唱歌上最も大切なれば、注意せん事を要す。

教授上一般の注意

- 一、唱歌教授に於ては、先づ發音の練習を要す。其方法、第一學期に準じて、専ら五母音を i, e, u, a, o 又は i, e, u, a, o 等の階段によりて練習するなり。此際高音は細く、中音は中等に、低音は太く發音せしめ、且つ美麗ならしめんことに注意すべし。
- 二、次に題目指示をなし、歌詞を平假名にて塗板に大きく書す。既に他の教科にて教授したる事項なるときは、童兒をして其大要を談話せしむるを可とす。口授法によりて教授する順序方法は、初編上巻に同じ。此際全曲を數部に分ちて、其一部分宛を確實に教授し、以て全曲に及ぼすを便なりとす。
- 三、兒童唱歌教授上、繪畫を使用せんは、意外の興味を添ふるものなり。故に其圖案の一端を掲げたれば、教師はこれによりて豫め一定の書板を用意し、教授の際常にこれを使用せんことを望む。
- 四、兒童の心情は、絶えず活動し且つ快活なり、故に曲歌の速度は、概して急速なるを可とす。而して本編收むる所の八曲は、何れもこれを遊戯と連絡せしめ得べく、尙ほ猿蟹、浦島太郎は此學年に適したる修身童話、「お月様」には理科思想を讀み、雁、兵隊には列を正し、規律を守り、勇氣を鼓舞せん事を勵め、「かゝさむ、こさむ」には算術の活用を諳ひたるものなれば、是等は他の諸教科に於て、相當の講話をなしたる後、教授せん事を要す。

教科 幼年唱歌 初編中巻

目次

猿	蟹	納所辨次郎	七
運動會	田村虎藏	九	
お月様	納所辨次郎	十一	
雁	未詳(西洋曲)	十三	
浦島太郎	田村虎藏	十五	
兵隊	無名氏(西洋曲)	十七	
大寒小寒	田村虎藏	十九	
雪だるま	納所辨次郎	廿一	



さ
る
か
に

さ
る
か
に

作 者 石原和 三郎

一、 はやくめをだせ、 かきのたれ、
 ださねと、はさみで、 ちよんぎるぞ、
 はやくならぬか、 かきのみよ、
 ならぬと、はさみで、 ちよんぎるぞ。

二、 はちや、たまごや、 たちうすや、
 かにを、たすけて、 かたきりち、
 たまごのちらいぐわ、 はちのやり、
 とうくさるめは、



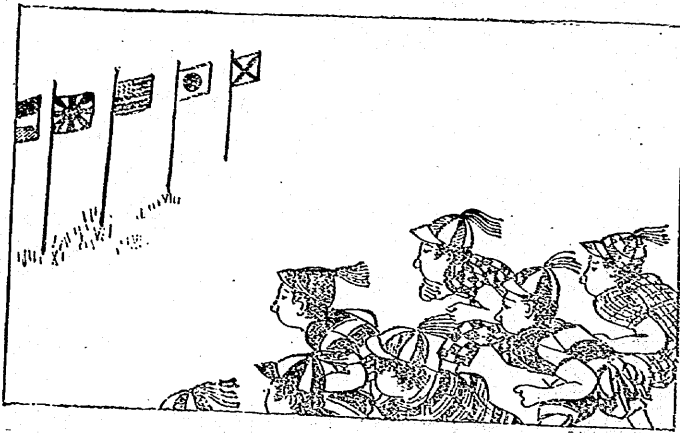
七

さ
る
か
に

(に 調三拍子)

中等に 作曲 納所辨次郎





うんどーくわい

うんどーくわい

一、ちひさしとても、にっぽんだんじ、
 まけてはならじ、かけくらべ、
 あひづとともに、かけだして、
 われ一ばんの、てがらせん。

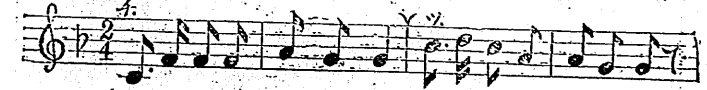
二、ならしておいた、このあしだめし、
 てなみをみよや、はれのばの、
 むかうにならぶ、はたじるし、
 われ一ばんに、とつてこん。

うんどーくわい
 作歌 田邊友三郎

うんどーくわい

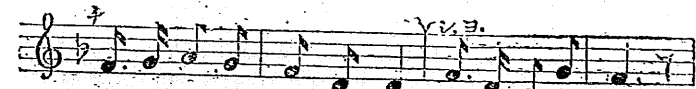
(ハ調二拍子)

稍急速 ♩ 作曲 田村虎藏



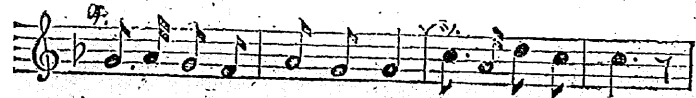
5. 1 1 1 | 3 2 2 | 5. 6 5 3 | 3 2 2 0 |

1. ナヒサツ トテモニツホシ ダンウ
 2. ナヲソテ ナイタコノアツダメシ



1. 2 3 2 | 1 6 6 | 1. 6 5 2 | 1. 0 |

マケテハナラジ カケクラベ
 ナイナ イナ イナ



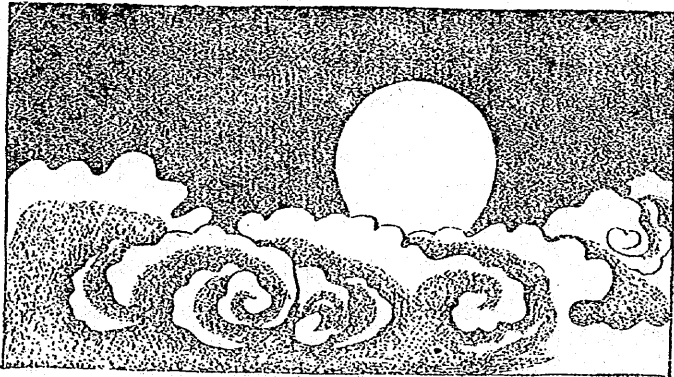
2. 3 2 1 | 3 2 2 | 5. 3 6 5 | 5. 0 |

アヒツト トモニカケクラベ
 アカツコ ナラフ アカメウレシ



5. 3 6 5 | 3 2 1 | 2 1 3 2 | 1. 0 ||

ソレイテ ナンノテガウセシ
 ソレイテ ナンノトテテ



おつきさま

十一

おつきさま

作歌 石原和三郎

一、おつきさま、えらいな、
 おいさまの、きょうだいで、
 みかづきに、なったり、
 まんまるに、なったり、
 はる、なつ、あき、ふゆ、
 につぼんじゆーを、てらす。

二、おつきさま、わかいな、
 いつもとしを、とらないで、
 くしのやうに、なったり、
 かがみのやうに、なったり、
 はる、なつ、あき、ふゆ、
 につぼんじゆーを、てらす。

おつきさま

(へ調二拍子)

優美に 作曲 納所辨次郎

チ

5 1 1 1 | 3 1 1 | 5 5 3 5 | 1 2 3 |

1. オツキサマ エライナ オヒサマンキョーダイテ
 2. オツキサマ ソカイナ イツモトシチ、トラナイテ

ツ

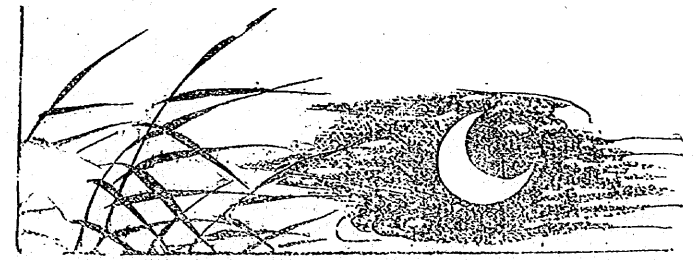
5 5 3 1 | 2 3 2 | 3 3 2 1 | 6 1 5 |

ミカヅキニ ナツタリ マンマルニ ナツタリ
 クシノヤウニ ナツタリ カガミノヤウニ ナツタリ

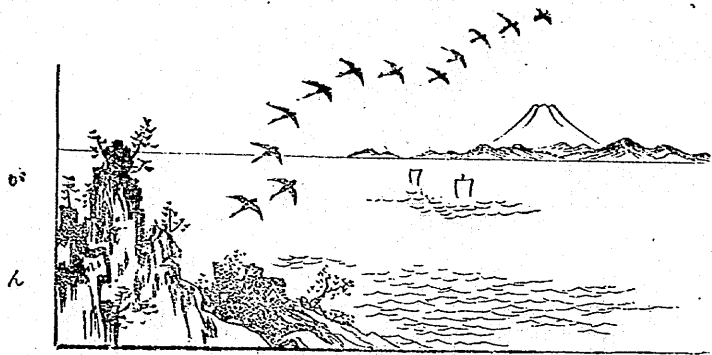
チ

5 6 5 3 | 2 3 2 1 | 6 5 1 2 | 3 2 1 ||

ハル ナツ アキ フユニツギンヤエーテラス
 ハル ナツ アキ フユニツギンヤエーテラス



十



おん

おん

一、 さきのがんも、 まげすにすゝめ、
 二、 あとのがんも、 おくるなふ、
 はねをばならべ、 れつとばたし、
 なかよくわたれ、 おほぞらを。
 一、 くものうへも、 おそれずとべよ、
 二、 きりのなかも、 わけてゆけ、
 やまよりたかく、 うみをこえて、
 いさみてわたれ、 おほぞらを。

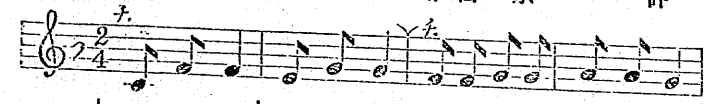
おん

作歌 田邊友三郎

おん
 (へ調二拍子)



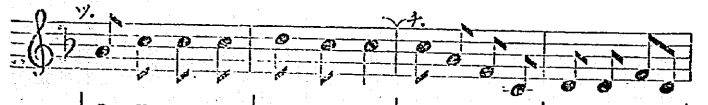
快活に 作曲 未詳



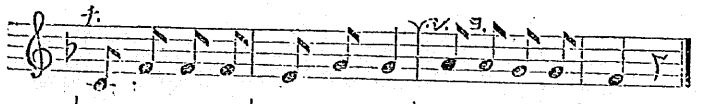
5 1 1 | 7 2 2 | 1 1 2 2 | 3 3 2 |
 1. サ キ ノ ガ ン モ マ ケ ズ ニ ス ト メ
 2. ク モ ノ ヲ ヘ モ オ ソ レ ス ト ペ ヨ



5 1 1 | 7 2 2 | 3 3 2 2 | 1 0 |
 ア ト ノ ガ ン モ オ ク ル ナ ヨ
 キ リ ノ ナ カ モ ソ ケ テ ユ ク



3 5 5 5 | 6 5 5 | 5 3 1 5 | 6 6 1 6 |
 ハ ネ ナ バ ナ フ ベ レ ヅ チ バ タ ダ シー
 タ マ ヨ リ タ カ ク ヲ ミ チ ヨ コ エ テー



5 1 1 1 | 7 2 2 | 3 3 2 2 | 1 0 |
 ナ カ ヨ ク ソ タ レ オ ホ ソ フ サ
 イ サ ミ テ ヲ タ レ オ ホ ソ フ サ

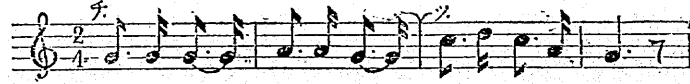
うらしまたろー

(は調二拍子)

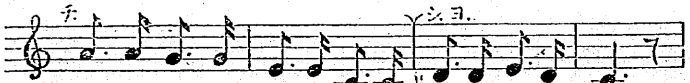
快活 = (軍歌体)

作曲 田村 虎藏

うらしまたろー



	5.	5	5.	5	6.	6	5:	5	1.	2	1.	6	5.	0
1.	△	カ	シ	ー	△	カ	シ	ー	ウ	ラ	シ	マ	ハ	テ
2.	ア	ル	ヒ	ー	カ	ホ	ニ	ナ	ラ	メ	ガ	ア	リ	ヤ
3.	ウ	ラ	シ	マ	オ	ホ	ニ	ナ	カ	メ	カ	ニ	モ	ン
4.	ミ	レ	バ	ー	オ	ド	ロ	ク	カ	ラ	モ	ン		



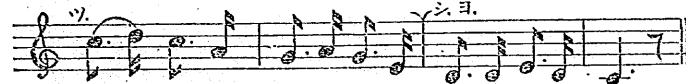
	6.	6	5.	5	3.	3	1.	1	2.	2	3.	2	1:	0
	コ	ド	モ	ノ	ナ	ア	ル	ー	カ	メ	チ	ミ	テ	サ
	モ	ウ	シ	ノ	モ	ウ	シ	ラ	ウ	ラ	シ	ノ	サ	コ
	ナ	シ	ノ	コ	ウ	ヘ	ラ	ー	シ	ラ	ノ	ソ	コ	ネ
	サ	ン	コ	ノ	ハ	シ	ラ	ー	ヤ	コ	ノ	ソ		

たひ、しび、びらめ、かつを、さは、
むらがるなかを、わけてゆく。
四、みればおとろく、からもんや、
さんごのはしら、しゃこのやね、
しんじゆやるりで、かざりたて、
よるもかがやく、おくをてん。
五、おとひめさまに、したがひて、
うらしまたろーは、三ねんを、
りーどーじよーで、くらすうち、
わがやこひしく、なりにけり。
六、かへりてみれば、いへもなし、
これはふしぎと、たまたはこ、
ひらけはしろき、けむがたち、
しらがのぢちと、なりにけり、

つづき

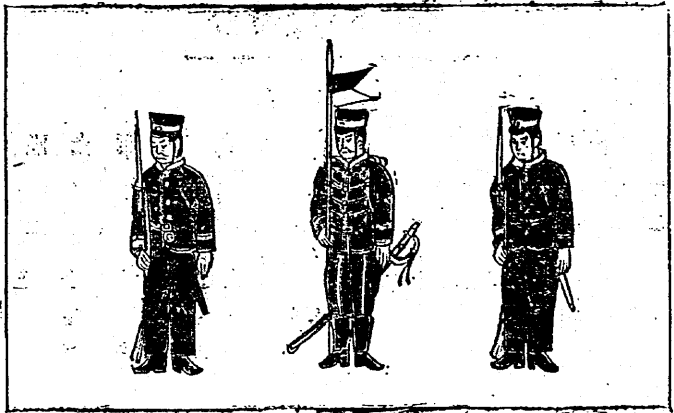


	2.	2	1.	2	3.	4	5.	5	6.	6	5.	3	5.	0
	ア	ハ	レ	ト	オ	モ	ヒ	ー	カ	ヒ	ト	リ	テ	ロ
	リ	ユ	グ	ト	オ	イ	フ	ー	カ	ヒ	ト	リ	コ	サ
	タ	ユ	ン	ビ	ラ	ラ	メ	ー	カ	ツ	ナ	リ	タ	バ
	シ	ユ	シ	ヤ	ル	リ	テ	ー	カ	ザ	リ	タ		



	1.	2	1.	6	5.	6	5.	3	2.	2	3.	2	1.	0
	フ	ー	カ	キ	フ	ア	ヘ	ナ	ハ	イ	ナ	ク	ル	セ
	ソ	ラ	ガ	ル	ア	ナ	ナ	カ	イ	ソ	タ	ク	セ	ク
	ム	ラ	ル	カ	ガ	カ	キ	ソ	ノ	ク	ク	ク	ク	
	ヨ	ー	ル	カ	ガ	キ	ク	オ	ク	ク	ク	ク	ク	

うらしまたろー
作歌 石原和三郎
一、むかし、うらしまは、
ことものなる、かめをみて、
あはれとおもひ、かひとりて、
ふかきふちへぞ、はなちける。
二、あるひおほきなかがでて、
「まうしく、うらしまさん、
りーどーといふ、よいところ、
そこへあんない、いたしませう。」
三、うらしまたろーは、かめにのり、
なみのうへやら、うみのそこ、



い
たい

作 歌 石原和三郎

一 ほまれのたかい にほんのへいし
 二 へいしをつけて しゃんてい
 三 へいしをつけて しゃんてい
 四 へいしをつけて しゃんてい
 五 へいしをつけて しゃんてい
 六 へいしをつけて しゃんてい
 七 へいしをつけて しゃんてい
 八 へいしをつけて しゃんてい
 九 へいしをつけて しゃんてい
 十 へいしをつけて しゃんてい

へい たい

(と 初二拍子)

活 潑 に 作 曲 無 名 氏



5 1 1 1 | 7 2 2 | 3 3 4 2 | 2 1 1 |

1. ホ マ レ ノ タ カ イ ニ ホ ン ノ ヘ イ シ
 2. ヲ レ ラ ヲ イ マ ニ ヘ イ シ ト ナ ル ヲ



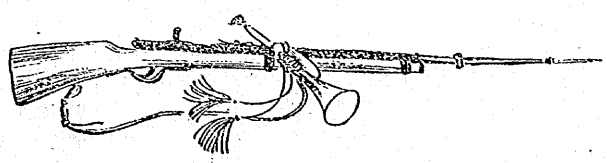
5 3 3 1 | 1 6 6 | 4 3 2 1 | 7 6 5 |

ヨ ク キ ナ ッ ケ テ コ ー レ イ イ ヲ
 ヲ ク キ ナ ッ ケ テ コ ー レ イ イ ヲ



5 1 1 1 | 7 2 2 | 3 3 4 2 | 2 1 1 ||

ス ス ア ナ ッ リ テ ニ ガ ル ナ ッ ラ x
 イ ク サ ニ ア レ ス シ ン ア ヲ ニ ガ x





おほさむこさむ

おほさむこさむ、ふゆのちがひ、
 あれくからず、四つ五つ、
 カーカーカーと、ないてゆく、
 あればねぐらに、かゝるのち。
 おほさむこさむ、ふゆのちがひ、
 あれくきのはが、六つ七つ、
 ヒラヒラヒラと、まうてゆく、
 あればどこまで、と入るのち。

おほさむこさむ
 作歌 石原和三郎

おほさむこさむ

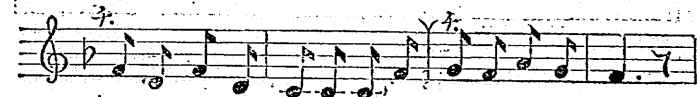
(ハ調二拍子)

快活に 作曲 田村虎藏



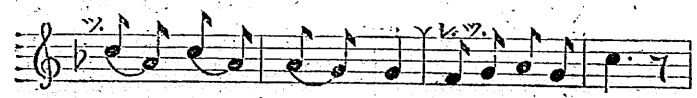
5 3 3 | 3 2 2 | 1 3 2 1 | 0 0

1. サ △ コ サ △ フ ヌ ノ カ セ
 2. サ △ コ サ △ フ ヌ ノ カ セ



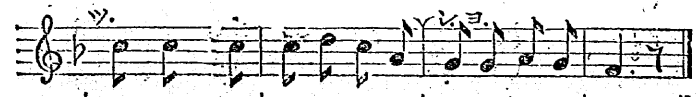
1 0 1 0 | 5 5 5 1 | 2 1 3 2 | 1 0

アレ アレ カラスガ ヨ ツ イ ツ ヲ
 アレ アレ キノハガ △ ツ ナ ナ ヲ



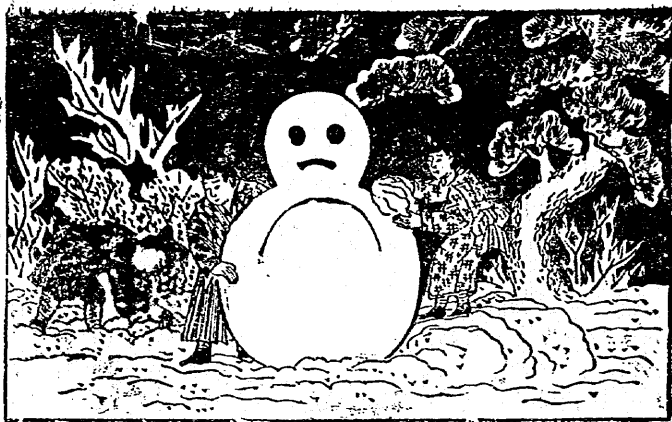
5 3 5 3 | 3 2 2 | 1 2 3 2 | 5 0

カーカー カート ナイテユク
 ヒラヒラ ヒラヒラ ヲ



5 5 5 | 5 0 5 3 | 2 2 3 2 | 1 0

7 7 7 | 7 0 7 3 | 2 2 3 2 | 1 0



ゆきだるま

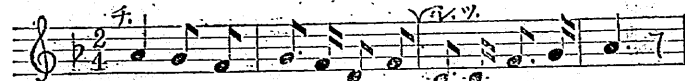
一 ゆきはちらく、ふつてきた、
 ふつたらたまれ、にはさきに、
 たまったゆきを、つみあげて、
 いざやつくらん、ゆきだるま、
 おほきいまなご、くるぐると、
 二 むすんだくちは、いちもんじ、
 ものはよくみよ、ものいふな、
 われらにはの、ゆきだるま、

ゆきだるま
作 歌 田 邊 友 三 郎

ゆきだるま

(ハ調二拍子)

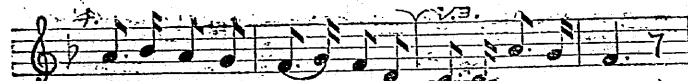
快活に 作曲 納所辨次郎



3 2 1 | 2 1 0 1 | 5 5 1 2 | 3 0

1. ヌ キ ハ ナ ラ ナ ラ フ ツ テ キ *

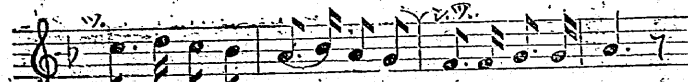
2. ナ キ イ イ ナ コ ー ク ロ ヲ ロ ト



3. 4 3 2 | 1. 2 1 0 | 5. 5 3 2 | 1. 0

フ ツ キ ラ タ イ レ ニ ハ サ キ ニ

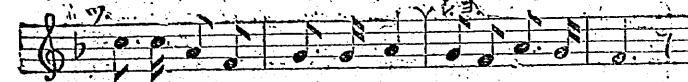
△ ス ン タ ク ー ナ イ ナ ム ン



5. 0 5 4 | 3. 4 3 2 | 1. 1 2 2 | 3. 0

キ イ ヲ キ ム ー キ ナ ツ 4 7 2 ナ

5 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



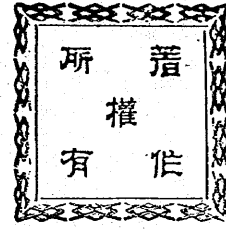
5. 5 3 1 | 2. 2 3 | 2 1 3 2 | 1. 0

イ ヲ ナ ツ 2 3 4 5 6 7 8 9 10

7 7 7 7 8 8 8 8 8 8

135.7

明治卅六年七月十八日訂正	明治卅六年七月十五日訂正	明治卅五年七月十日訂正	明治卅四年七月十日訂正	明治卅三年七月十日訂正	明治卅二年七月十日訂正
五版發行	五版印刷	四版發行	三版發行	再版發行	再版發行



(許不を寫謄び及譜譯)

編者

同

發行者

發行所

印刷者

印刷所

正價金拾錢

納所辨次郎

田村虎藏

倉田繁太郎

十字屋

赤田末吉

福岡商店印刷部

東京市麹町區下六番町二十二番地

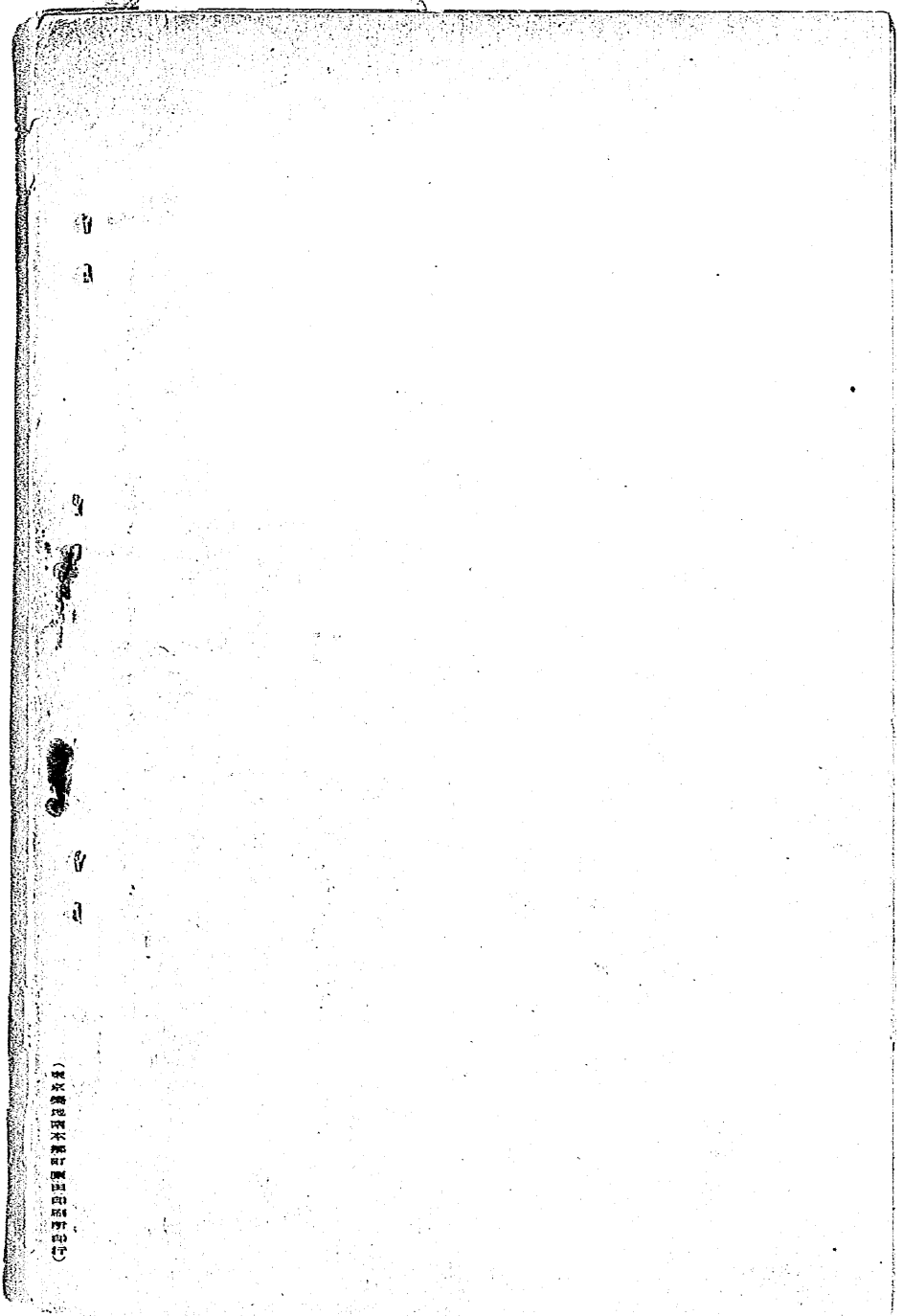
同市牛込區白銀町三十五番地

同市京橋區銀座三丁目二番地

同市京橋區銀座三丁目二番地

同市日本橋區標正町十二番地

同市京橋區元數寄屋町四丁目二番地



(
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
)